

## 五色湖の自然と秋の味覚を満喫 (10月10日)

五色湖まつりが山瀬ダム多目的運動広場で開かれ、たくさん家族連れなどでにぎわいました。

小雨交じりの天気でしたが、会場では子どもたちがミニSSLに乗ったり、ジマスつかみ取りに挑戦したりして、笑顔いっぱい楽しんでいました。焼き鳥などの出店も並び、来場者は周辺の色付き始めた山々を眺めながら、秋の味覚と五色湖の自然を満喫していました。



みんな楽しんでました

## 本場大館きりたんぼまつり (10月9日、10日)

じつくりと焼き上げて



本場大館きりたんぼまつりが長川市民広場で開かれ、たくさん市民や観光客が新米のきりたんぼに舌鼓を打ちました。

恒例の「たんぼ干本焼き」には、家族連れなど大勢の来場者がたんぼ作りに挑戦。ご飯を串に付け、炭火で



ん〜、おいしいー

こんがりときつね色に焼き上げたたんぼにみそを塗っておいしそうにほお張っていました。

## 忠犬ハチ公生誕祭 (10月10日)



花をささげ思いを新たに

大館生まれの秋田犬・忠犬ハチ公の生誕祭が、JR大館駅前ハチ公広場で行われました。

ハチ公は、今から87年前の大正12年11月に大子内で生まれ、間もなく東京・渋谷の上野博士のもとに送られました。

生誕祭には、有浦保育園の園児ら約150人が出席。銅像に花をささげたあと、園児のケーキカットで87回目の誕生日を祝いました。

最後に、城西小学校4、5年生の児童が「ハチ公のうた」を合唱し、ハチ公への思いを新たにしていました。

## 市民駅伝大会 (10月11日)

大館市民駅伝競争大会が長根山運動公園陸上競技場で行われ、選手たちは家族や友人の声援を受けて力走し、タスキをつないでゴールを目指しました。

大会には、小学生から一般まで64チームが参加。昨年初めて出場チームがあった一般女子の部は、3チーム増えて7チームが参加し、ネッパラン母組が優勝。また、37チームが出場した小学校の部は、東館小学校Aチームが2位に大差をつけて圧勝しました。



次、頼んだゾ!

## 大茂内第二トンネルが貫通 (10月12日)

日本海沿岸東北自動車道(日沿道)の大茂内第二トンネル(2,988m)で貫通式が行われ、掘削開始から約3年をかけた区間最長トンネルの貫通を祝いました。

貫通式には、工事関係者など約100人が出席。代表者6人が貫通発破の点火スイッチを押し込むと、ダイナマイトの爆発音とともに砂煙が立ち込めて貫通。坑口から光が差し込まれると一斉に拍手が上がりました。続いて通り初めなどの儀式や鏡開きが行われ、出席者は貫通を祝うとともに、残る工事の無事故を誓い合いました。



発破の点火スイッチを一斉に押し貫通

## 秋の味覚が盛りだくさん (10月17日)

おおだて秋の市日まつりが柳町児童公園で開かれ、秋の味覚を買い求める市民らでにぎわいました。この市日は、毎月7の付く日に開催されていて、まつりは春と秋の年2回行われています。



約60店が並んだ露店には、マイタケやサワモタシのキノコ類や、リンゴ、ナシなどの果物が所狭しと並べられました。早朝から足を運んだ来場者は、ずらりと並んだ秋の味覚を手に取り、熱心に品定めをして買い求めていました。